

## 犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

### 【概要】

- 日時 令和7年1月24日（金）午後2時20分～午後3時10分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年4・5組生徒

### 【発言項目】

- 課題テーマ1 「住み続けたいまちってどんなまち？」
- 内容 住み続けたいまちとは、住みやすいまちである。海外の人にも住みやすい環境を整えるべき。また、子育て支援の充実としてヨシヅヤキッズスペースを活用し、遊び場や相談の場を提供したり、子ども向けのイベントを開催し、楽しく過ごせる機会を増やすとよい。犬山ならではの文化として「鶺鴒飼」に興味を持てる工夫をし、花火の待ち時間に紹介動画を流したり、親子招待の機会を作ることも提案する。

### 【議員からのフィードバック】

学校が主体となって実施した今回の取り組みは大変有意義だったと思います。私たちのテーブルは、当日、議員3人に生徒1人というイレギュラーもありましたが、主体的に課題や解決策の提案を述べていただけました。子ども向けのイベントや鶺鴒飼に興味を持ってもらう工夫など、気づきになったところもありました。今後、研究させていただきたいと思います。

- 課題テーマ2 「政治無関心の理由」

- 内容 若者は政治に無関心ではなく、SNSを通じて関心を持つことが多い。特に政治家がネタにされる動画を見て、興味を持つケースもある。一方で無関心な層もいるため、議会の様子などを短い動画で発信するとよい。ティックトックやYouTubeショート動画を活用し、最初の一瞬で惹きつける情報発信をする工夫が必要。ささいなことでも若者が関心を持つきっかけを作ることが大切。

### 【議員からのフィードバック】

当初、このテーマは、投票率の低下が進んでおり、若者の政治離れが進んでいることを危惧してテーマ選定しておりましたが、学生の皆様が、私たちの想像をはるかに超える程、政治に関心があり、勉強されており、深く感銘を受けました。今回、このテーマを選んで頂いた皆様に感謝申し上げます。また、今後、全国ニュースになるような国政などだけでなく、お住まいの地域の政治へも興味関心を持って頂き、臨んで頂ければ幸いです。

○課題テーマ3 「暮らしやすい街づくりとは？」

○内容 犬山市には外国人居住者が多く、ごみ袋の多言語表記などの配慮がされていると感じる。外国人が増えても、美しいまちを維持する工夫が必要。犬山多言語ニュースで災害時の多言語情報発信アプリが紹介されている点は良いと思うが、電車で優先席が分からず座れていない外国人がいる状況もある。誰もが住みやすいまちにするためには、一人一人の気遣いと福祉の心が大切。

【議員からのフィードバック】

「まちづくり」において、さまざまな視点がある中で、ソフト面に注目した学習をされたのだと思いました。多文化共生は、今後も重要な課題だと認識しています。一人一人の気遣いと福祉の心が大切、と気が付いてくれてよかったです。思いやりのある温かいまちづくりを目指したいと考えます。

○課題テーマ4 「少子化について」

○内容 犬山は観光地のイメージが強いが、学校給食の自校調理やいるか池でのわかさぎ釣りなど、住む魅力も多い。その魅力が十分に発信されておらず、知られていないことが課題。名古屋や岐阜へのアクセスの良さも、あまりアピールされていない。観光客の多さを活かし、観光地で犬山の魅力を紹介するショート動画を発信するなど、周知の工夫が必要。

【議員からのフィードバック】

高校生の皆さんのご指摘通り、犬山の良いところを上手く発信できていなかったと改めて私達議員も認識しました。今回、指摘があった自校給食や入鹿池でのワカサギ釣り以外にも、埋もれている良い物を探し、様々な方法で発信し、他市町からの移住に繋がるよう、各々の議員が議会活動の中に活かしていきたいと考えます。

○課題テーマ5 「地域の自然科学課題としての自然と防災」

○内容 犬山には木曾川があり、地震発生時には氾濫のリスクがあるため、平地の高台などに避難所を設けるべき。また、学校などを避難所にする場合も、他市から来た人にも分かりやすいように、建物の色を変えるなど、他の建物と区別しやすくすることが望ましい。日頃から災害時の行動を想定し、備えることが大切。

【議員からのフィードバック】

当初は東部丘陵の避難所を充実させる意見がありましたが、議員側からの発言で、人口が集中するエリアも大切だと改めて気づいてくれました。また、目立つ色の施設など、高校生らしい提案もあり、刺激を受けました。どこで被災しても対応できるよう、平時から意識して準備しておくことの大切さを認識してくれたことは、皆さんの将来に役立つ大きな収穫だと感じます。

#### 【議会からのフィードバック】

今回の意見交換会を通じて、木曾川鵜飼いやわかさぎ釣りなど、犬山の魅力を再認識するとともに、ショート動画での情報発信など、若者らしい切り口からのアイデアには、大変刺激を受けました。また、外国人も暮らしやすい共生社会の実現など、今後課題となる社会問題についても分析されており、大変勉強になりました。

今後も、若い世代の新しい、夢のある提案を聴く機会を設けるため、来年度もまた引き続き、こうした意見交換会を実施してまいりたいと考えますので、生徒の皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。